

平成26年度対ジャマイカ ノン・プロジェクト無償資金協力
「途上国の要望を踏まえた工業用品等の供与」引渡式
平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジャマイカ消防隊消火栓整備計画」引渡式

2017年6月21日、中野大使は、キングストン市内のヨークパーク消防署にて行われた、平成26年度対ジャマイカ ノン・プロジェクト無償資金協力「途上国の要望を踏まえた工業用品等の供与」および平成25年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ジャマイカ消防隊消火栓整備計画」の引渡式に出席し、2台の指揮車および国内の消火栓の持続的使用に向けた維持管理のために必要な修理用車両と機材を寄贈しました。

指揮車は災害現場で活動隊が安全で効率良く活動するための車両ですが、当国には未だ1台もなく、その配備が望まれていました。また、年間約54,000件の火災が発生しているジャマイカでは、全国各地に65台の消防車が待機しているにも関わらず、消火栓のメンテナンス不足や故障が原因で被害が拡大する事例が多発しており、全国各地の消火栓の整備・修理が喫緊の課題となっていました。

上記2件のプロジェクトでは、3台の指揮車の供与（うち1台は本年後半に当国に到着予定）および国内の消火栓を修理することにより、ジャマイカ消防隊における緊急対応能力を強化し、災害発生時に一人でも多くの国民の命が救われ、安全な生活を送ることに貢献することを目的としています。

当日の引渡式へは、マッケンジー地方政府・コミュニティ開発大臣、エンニス・キングストン副市長、スペンサー・ジャマイカ消防隊長代行、ジャマイカ消防隊関係者など約50名が参列しました。

スペンサー・ジャマイカ消防隊長代行は、国内各所における消防車や水タンク車の寄贈に引き続き、高性能の指揮車および消火栓修理用機材・車両の寄贈に対し、日本への感謝を述べました。マッケンジー地方政府・コミュニティ開発大臣は、日本とジャマイカ二国間の強固な連携を賞賛し、今後も、ジャマイカ消防隊が国民の為に素晴らしい活動を続けていけるよう、支援を惜しまないと述べました。

中野大使は、この2台の指揮車の供与および消火栓を修理することにより、国の発展および繁栄に最も大切な、国民の安全を確保する体制が強化されることへの強い期待を述べました。



(左) ジャマイカ消防隊に供与された2台の指揮車と消火栓修理用車両（中央）
(右) 中野大使のスピーチ



(左) マッケンジー地方政府・コミュニティ開発大臣のスピーチ
(右) スペンサー・ジャマイカ消防隊長代行のスピーチ



(左) 車両のキーをマッケンジー大臣およびスペンサー隊長代行に手渡す中野大使
(右) 供与された車両について説明を行うスペンサー隊長代行



(左) 供与車両の緊急サイレンのテストを行う中野大使とマッケンジー大臣
(右) 指揮車の内部を視察する中野大使とマッケンジー大臣